

交流バスツアー

多文化共生部会

9月13日の交流バスツアーでは日光市の足尾銅山及び群馬県みどり市の星野富弘美術館・草木ダムへ行ってきました。小雨模様ではありましたが、参加者40名と沢山の方に参加をしていただきました。足尾銅山坑内見学では日本一の銅山の歴史に触れ学びの場となりました。星野富弘美術館では不自由な身体にも関わらず自然を愛し愛情に溢れた絵と詩集を描いた作品の数々に感動いたしました。また、草木ダム周辺の美しい自然を満喫することができました。参加者の皆さんは出身国は異なっても、お互いに交流を深め一日充実した時間を過ごすことができました。



参加者の感想

今回 インターネットでこのイベントを知り、友人を誘って参加しました。外国人との友好に興味があり、参加してみたいと思っていました。今回のツアーは時間にゆとりがあって、ゆっくりと楽しめました。またバス内での自己紹介は皆さん個性があつてとても楽しかったです。もっと同世代の人達が参加していれば良かったと思います。教育学部で勉強していて将来教師を目指していて、今日の経験はとても役に立ちました。楽しかったです。

笹岡 美優さん 大学生

Visiting the 400-year-old Ashio Copper Mine in Nikko made me feel like I stepped back in time, learning about Japan's history and the hard work of the miners who shaped it. Walking through the tunnels, I realized how much courage and endurance it took for people to work in such conditions centuries ago. At the Tomihiro Hoshino Art Museum, I was deeply touched by his gentle yet powerful poems and paintings that spoke straight to the heart. Despite his inability to move after the accident, his words reminded me of hope and faith, especially when he said, "Whether I stand or fall, I'm in the palms of Your hands." This tour was not just educational but also a moving journey of history, art, and inspiration that I will always treasure. Julie Ann Caingcoy

《翻訳》日光にある400年の歴史を持つ足尾銅山を訪れ、まるでタイムスリップしたかのような感覚に襲われました。日本の歴史と、それを形作った鉱夫たちの苦労について学びました。坑道を歩きながら、何世紀も前の人々がこのような環境で働くには、どれほどの勇気と忍耐が必要だったかを実感しました。星野富弘美術館では、星野富弘氏の優しくも力強い詩と、心に深く響く絵画に深く心を打たれました。事故後、動けなくなった星野氏ですが、彼の言葉は、特に「立っても倒れても、あなたの手のひらの中にいます」という言葉から、希望と信仰を改めて感じました。このツアーは、単に学びを深めるだけでなく、歴史、芸術、そしてインスピレーションに満ちた感動的な旅でもあり、私にとって一生の宝物となるでしょう。

ジュリー・アン・ケインコイさん (フィリピン)

「おやまいち」に参加しました

9月28日、秋晴れの小山市総合公園で開催された「おやまいち」に協会のブースを出展しました。今回は、協会の紹介パネルの展示に加えて、竹灯りの製作のデモンストレーションと、参加型の紙工作のワークショップを行いました。竹灯りコーナーでは、日本の竹を使って自然な灯りを楽めることを、竹灯り製作者の佐藤吉和さんが来場者に見せて説明しました。

ワークショップでは、子どもも大人も、紙ロール芯と画鋏を使って作れる、筒灯りを紹介しました。来場者に楽しんでいただけました。

佐藤吉和さんのコメント「気温が高く

集客？が心配でしたが、短期間で出来るワークショップのお陰で沢山の人に来て頂けたと思います。竹灯りは暗所で照らしてこそ最大の効果を発揮できる為、制作過程の展示では不安がありましたが、ワークショップを通じ国際交流協会に大変有効だったと感じました。」



おやまいち当日のブーススタッフ（敬称略）石田美鈴、高梨秀佳、伊藤忠、遠藤ゆき、大平拓史、佐藤吉和（写真はスタッフの一部です）

参加者の感想

ボケ防止にもなって、飾って綺麗で、いいわね～ 集中できて楽しかったわ～ （50代）

穴を開けるのもそんなに難しくなかったし、綺麗に出来て嬉しかった～お家に帰ったら夜寝る前にお部屋で楽しみたいと思う（宇都宮から来た親子）



皆さん
真剣に
取り組んで
います



日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語教育部会では、10月5日から11月16日まで全5回「日本語学習支援ボランティア養成講座」を開催しました。先ず、「市内外国人在住状況」を把握し、その後、講師の神山英子氏から「日本語支援ボランティア講師の役割、心得」「日本語教育の基本」等を解りやすい教授がありました。受講者は、熱心に興味深く聞き入り、質問等もあり意欲的に取り組んでいました。4回、5回目の講座はグループ学習となり、講師の教授をもとに現役支援ボランティアスタッフのアドバイスを



講師の 神山英子先生

を受け、自ら内容を組み立て使用教材の工夫も凝らした模擬授業を展開し、また、外国人になって受ける側の体験もしました。今後、受講者14名の方々が4つの日本語支援サークルにて、外国人の学習支援をしていくことが期待されます。より良い共生社会がさらに広がっていくことを切に願っております。

【講師コメント】

日本語支援に関して基礎的なことを紹介しました。日本語学習者の伴走者として、今後も共に学び合うことを大切にしていけたらと思います。



参加者の感想

荒井与志雄さん

私は仕事柄よく外国の方と話すことがあるのですが、町内でのゴミ問題等、伝え方の難しさに苦労した事もありました。今はアプリ等を使用もしていますが今回ボランティア養成講座とし日曜日に実施していただくことで、より参加者が増え、伝え方を学べたらいいなと思い参加致しました。漢字の「七」を「ナナ」「シチ」と呼ぶ等、伝え方の難しさを感じていました。今回の講座を受け、生徒として理解しやすい学習順路があるということを痛感致しました。今回の進め方を学習し、今後に活かしていきたいと思っています。

40代女性 Aさん

母がこの講座を見つけて参加してみたら？と声をかけてくれた為、参加することになりました。今まで引越しも多く、なかなかその土地に定住することも少なかった為、人とつながるという目的もありました。全5回の講座を受けて今まで関わりのない方と交流を持て、とても刺激を受けました。まだ仕事の都合上、どう活かしていくかの見通しはたっていませんが日本で暮らす外国人のサポートをしていきたいと考えています。

Oyama International Festival 開催案内

実行委員会

**Oyama
International
Festival**

第22回 Oyamaインターナショナルフェスティバル2025

2026.1.24 SAT

13:00p.m～16:30p.m

入場無料

Free Admission

場所：小山市立文化センター小ホール 小山市立中央公民館

ステージパフォーマンス



小山市国際交流協会には4つの部会があり、日本語教育部会もその1つです。活動はその名の通り外国人に日本語を教えています。詳細は、曜日ごとに5つのサークルがあり日本語教室を開いています。手法も「対面」が3サークル、「オンライン」が2サークルです。さて、どんな国のどんな人が、どんな勉強をしているか？ 又、卒業後はどんな生活を送っているのか？興味はありませんか？教える方も教わる方も、それぞれいろんな思いをもって臨んでいます。広報部会ではそこに注目しその実情を記事にすることを決めました。対象が広いのでシリーズ化します。初回は特別編です。教える講師側、教わる生徒側、両方に登場していただき、インタビュー形式で進めました。

第一回

講師側は日本語教育部会の松本さん

生徒側は元生徒の ^{ジョアンナ}Joana さん、^{アイリッシュ}Irysh さん

(フィリピン出身)

11月15日、小山市内でインタビューを行いました。



■ 松本さんインタビュー

～日本語教室で過ごす時間～

——日本語を教え始めたきっかけを教えてください。松本さん：「何か一つボランティアをしたいと思っていました。それで、小山市国際交流協会で“フライデーナイト”を立ち上げる時に参加しました。以前、松戸市に住んでいた時にも、松戸市国際交流協会に入っていたことがあって、その経験も大きかったと思います。」——教える中で印象に残っていることはありますか？ 松本さん：「Joana さんと Irysh さんが印象に残っています。お二人とも日本に来たばかりだったんですが、とても素直な生徒さんだと感じました。来日してすぐに車の免許も取って、車も持っていて、本当にすごいなと思いました。」——これからの教室活動や、どんな気持ちで続けていますか？ 松本さん：「日本語を教えることが楽しいですし、学習者の方との交流も楽しいです。」——松本さんにとって、日本語を教える“やりがい”とは？ 松本さん：「教える中で、自分も日本語について改めて考えることが増えました。日本語の良さや、逆に難しさにも気づきました。もっとしっかり伝えられるようにと思って、日本語検定3級も取りました。教えることは、自分のためにもなるんだと感じています。」

■ 元生徒のJoana さん インタビュー

～日本語を学んで広がった新しい世界～

——日本語を学ぼうと思ったきっかけを教えてください。Joana さん：「最初は、日本に住んでみたいと思って来日しました。両親が長く日本で働いていたこともあって、日本に興味があったんです。来日してから“日本語を勉強したい”と思うようになりました。フライデーナイト日本語教室は、Irysh さんが見つけてくれて、一緒に通い始めました。」——日本語教室で印象に残っていることは？ Joana さん：「松本先生に出会えたことです。とても優しく、日本で最初の日本人の友人になってくれました。」——これからやってみたいことや夢はありますか？ Joana さん：「将来は、スウェーデンに住んでみたいと思っています。」——日本語を勉強して変わったことはありますか？ Joana さん：「日本人の考え方がよく理解できるようになって、コミュニケーションも楽になりました。フィリピンと比べて、日本人は他人にあまり干渉しないことも自然に理解できるようになりました。」——補足：これまでの歩みJoana さんは、日本語教室に通った後、ALTとして小山市で2年、続いて佐野市でも勤務。日本での生活を大切にしながら、確かな一歩を積み重ねてこれたことが伝わってきました。

■ 元生徒Irysh さん インタビュー

～日本語がくれた自信と新しい毎日～

——日本語を学ぼうと思ったきっかけは？ Irysh さん：「日本人の方と話してみたい、日本のことをもっと理解したいと思ったのがきっかけです。」——日本語教室で印象に残っていることは？ Irysh さん：「松本先生に出会えたことです。」——これからの目標を教えてください。Irysh さん：「これからも日本でALTとして働き続けたいです。」

——日本語を勉強して変わったことはありますか？Irysh さん：「勉強する前はすごくシャイでした。でも、日本語を勉強してからは自信（Confident）が持てるようになりました。」——補足：これまでの歩みIrysh さんは、学校卒業からわずか3日で来日し、現在で日本生活6年目。栃木市大平で暮らしながら、ALTとして地域に貢献しています。

11月16日日本文化体験として「着物で街をあるこう」を行いました。様々な国の方、17名の参加を頂きました。呉服店「いつ和小山店」店長遠藤様を講師に招き『着物について』の講話を頂きました。また、同店様のご協力のもと、参加者一人ひとりに似合った着物を着付けして頂きました。その後は、街を散策いたしました。



集合写真（須賀神社参道にて）

須賀神社を参拝する方、御殿広場でのイベントを見にいく方と、自由に街歩きを楽しみました。文化ホールにおいては、お茶、お花、お琴などの日本文化に触れることができました。爽やかな、秋晴れに着物が映え、参加者からは「着物を着たのは初めて、着ることができて嬉しい」、「歩き方が難しい」などの感想を頂きました。とても有意義な時間を過ごす事ができました。

参加者の感想

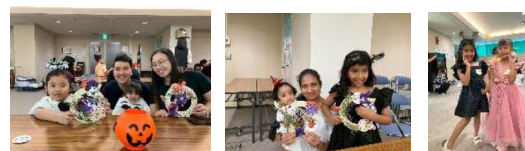
Hello, this is Gisele Loo, the Singaporean girl who attend the Kimono Event. I found out about the event through my teachers in Oyama Kosen, who invited international students the opportunity to attend the event. The event was very fulfilling for me as I was able to have a physical learning experience on Japanese culture. The Kimono rental process was very smooth and the staff were very friendly and helpful. The shrines were beautiful and the staff educated us about the Kimono tradition and answered my questions about the culture. The time allocated between each itinerary was perfect. I would definitely love to participate again in the future as this experience was very well organised and fun. Thank you for being my guide today. 訳) こんにちは。着物イベントに参加したシンガポール出身のジゼル・ルーです。小山高専の先生方からこのイベントのことを知りました。日本の文化を実際に体験することができ、とても充実したイベントになりました。着物のレンタルもスムーズで、スタッフの方々もとても親切で助かりました。須賀神社も美しく、スタッフの方々は着物の伝統について教えてくれ、文化に関する質問にも答えてくれました。各行程の時間配分も完璧でした。とてもよく準備されていて楽しかったので、またぜひ参加したいと思っています。今日はガイドをしていただき、ありがとうございました

Today 's event was my first, the experience was great, and I learnt about Japanese culture. I really enjoyed it. Yes, I would do it again. 訳) 今日のイベントは私にとって初めての参加でしたが、素晴らしい経験で、日本の文化について学ぶことができました。本当に楽しかったです。また参加したいと思っています。ガーナ出身 ALT マイケルさん

イベントはとても楽しかったです。人生で初めて着物を着ることができ、とても良い経験になりました。また、少しの間琴を弾くことができたのも、とても楽しく、思ったより簡単に驚きました。私は短期留学生のため、残念ながら次回参加することはできません。しかし、もし長く日本に滞在していて、再び参加できる機会があるとしたら、ぜひまた参加したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 アミルさん シンガポール出身 高専留学生



10月18日、外国人ふれあいサロン主催のHappy Halloweenイベントが総合福祉センターにて開催されました。今回の イベントには、28名の方が参加してくださいました。子どもたちは思い思いの仮装で登場してくれて、会場はとてにぎやかで楽しい雰囲気になりました。プリンセス、忍者、マリオ、おばけなど、みんなそれぞれに「可愛くて、かっこいい」姿を見せてくれて、たくさんの笑顔に癒されました。イベントでは、①リース作り ②ボール投げ・輪投げゲーム を楽しみました。親子で一緒に作業したり、お友だちと声をかけ合ったりする様子がたくさん見られ、ふれあいの時間が自然と生まれていたように感じます。今回の企画の目的は、「親子で一緒に楽しめる場づくり」と「参加者同士の交流のきっかけづくり」でしたが、皆さんの笑顔を見て、しっかり達成できたのではないかと思います。



協会の外国語講座がきっかけで発足したサークルが活動しています。お気軽にお問い合わせください。

サークル	曜日・時間	会 場	連 絡 先	会 費
中国語学習会	月2回 木曜日 13:00~14:30	小山市まちなか交流センター おやま〜る 研修室	090-7244-6451 井上	月 3,000円
初級英会話サークルハロー	第1, 3 土曜日 13:30~15:00	小山市まちなか交流センター おやま〜る 研修室	0285-25-2621 深町	月 2,000円
フランス語サークル (休止中)	第1, 3 水曜日 18:00~19:00	小山市まちなか交流センター おやま〜る 研修室	090-6181-8204 田中	月 2,000円
サークル・スペイン語	土・日曜日 10:00~12:00	小山市まちなか交流センター おやま〜る 研修室・他	090-8300-8421 合田	無料
イタリア語サークル	第2, 4 火曜日 10:00~11:30	小山市まちなか交流センター おやま〜る 研修室	090-6004-8596 望月	月 2,000円
フライデーイングリッシュ	金曜日(不定期) 16:30~	小山市まちなか交流センター おやま〜る 研修室	090-3698-3071 秋野	月 2,000円

入会は随時受付中！ スタッフ募集中！（ボランティアでイベントの企画/実施の協力をしてくださる方）

年会費 ●個人会員：2,000円 ●家族会員：3,000円 ●学生及び外国人会員：1,000円
(4/1~3/31) ●登録団体会員：3,000円 ●賛助団体会員：10,000円／ 1口

Membership fee structure

★Students or foreign national members...1,000 yen / year

★Regular member...2,000 yen / year ★Family membership ...3,000 yen / year

小 山 市 国 際 交 流 協 会

事務所：〒323-0023 小山市中央町2-2-21 小山市総合福祉センター1階

受付時間：9:00~17:00(土日祝日を除く)

電話/FAX: (0285) 23 - 1042

Mail: oyama6iea@tvoyama.ne.jp

協会NEWSがHPでも見
られます。



公式 Facebook



URL: <https://oyamaiea.com>